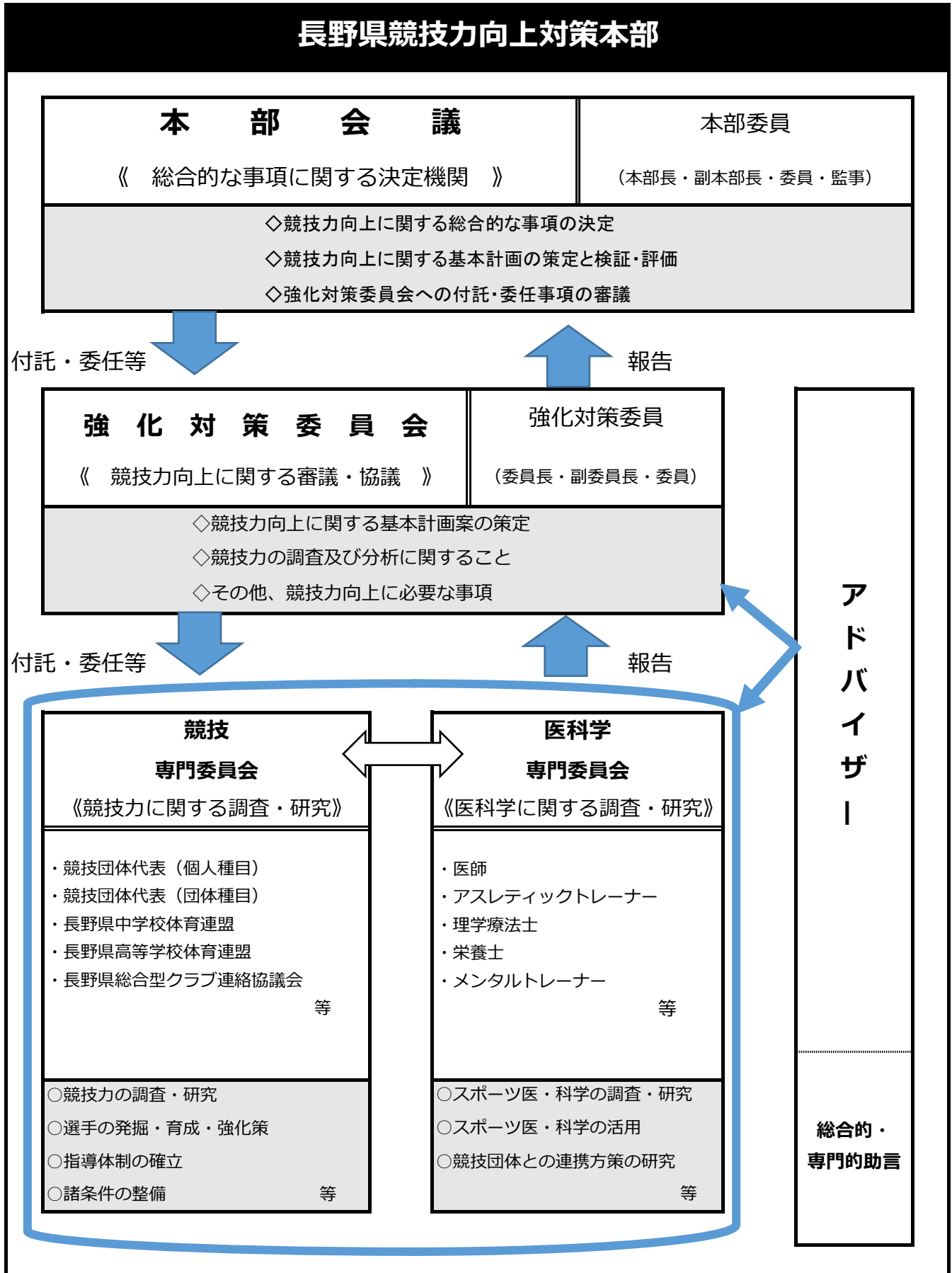


# 長野県競技力向上対策本部の設置について

スポーツ課

## 長野県競技力向上対策本部 組織図



## 長野県競技力向上対策本部 委員名簿

(順不同、敬称略)

役職名	所 属 機 関 ・ 団 体 役 職 名		氏 名
本部長	県	長野県知事	阿 部 守 一
副本部長	県教委	長野県教育委員会教育長	原 山 隆 一
	スポーツ	(公財)長野県体育協会理事長	林 泰 章
委 員	県議会	長野県議会文教企業委員会委員長	小 池 久 長
	市町村	長野県市長会会長	小 口 利 幸
		長野県町村会会長	藤 原 忠 彦
		長野県市町村教育委員会連絡協議会会長	坂 口 昌 夫
	スポーツ	(公財)長野県体育協会副会長	萩 原 清
		(公財)長野県体育協会 競技力向上専門委員会委員長 長野県スポーツ推進審議会会長	古 澤 栄 一
		(公財)長野県体育協会 体力向上・スポーツ医科学専門委員会委員長 長野県日体協公認スポーツドクター協議会会長	加 藤 光 朗
		長野県スポーツ推進委員協議会会長	松 井 元
		長野県総合型クラブ連絡協議会会長	柳 見 沢 宏
		長野県スポーツ少年団本部長	柴 満 喜 夫
		オリンピック(スキー・ノルディックコンバインド) 北野建設(株)スキー部ゼネラルマネージャー	萩 原 健 司
		オリンピック(バレーボール) 公立大学法人長野大学社会福祉学部教授	野 口 京 子
	学校関係	長野県小学校長会会長	神 津 長 生
		長野県中学校長会会長	塩 野 入 幸 隆
		長野県高等学校長会会長	今 井 義 明
		長野県私立中学高等学校長協会会長	桜 井 達 雄
		長野県中学校体育連盟会長	佐 藤 厚 彦
		長野県高等学校体育連盟会長	北 村 桂 一
		国立大学法人信州大学教育学部長	永 松 裕 希
		学校法人松商学園松本大学副学長	等 々 力 賢 治
	経済団体	(一社)長野県経営者協会会長	山 浦 愛 幸
		長野県中小企業団体中央会会長	和 田 晶 宜
		(一社)長野県商工会議所連合会会長	北 村 正 博
長野県商工会連合会会長		柏 木 昭 憲	
監 事	県	長野県会計管理者兼会計局長	塩 谷 幸 隆
	市町村	長野県市長会事務局長	青 木 弘
		長野県町村会事務局長	下 里 啓 介

〔30名〕

## 長野県競技力向上対策本部 強化対策委員及びアドバイザー名簿

### ■強化対策委員会〔23名〕

(順不同、敬称略)

役職名	所属機関・団体役職名		氏名
委員長	スポーツ	オリンピック(スキー・ノルディックコンバインド) 北野建設(株)スキー部ゼネラルマネージャー	荻原 健司
副委員長	県教委	長野県教育委員会教育次長	轟 寛逸
	スポーツ	(公財)長野県体育協会専務理事	丸山 隆義
委員	スポーツ	(公財)長野県体育協会 競技力向上専門委員会委員長	古澤 栄一
		(公財)長野県体育協会体力向上・スポーツ医科学専門委員会委員長	加藤 光朗
		長野県スポーツ推進委員協議会副会長	宮澤 俊弘
		長野県総合型クラブ連絡協議会会長	柳見 沢 宏
		長野県スポーツ少年団副本部長	清水 一人
		オリンピック(バレーボール)	鬼頭 有紀子
		オリンピック(水泳)	金藤 理絵
	プロスポーツ チーム代表	(株)松本山雅 代表取締役社長	神田 文之
	学校関係	長野県中学校体育連盟 理事長	大日方 博
		長野県中学校体育連盟 副理事長	竹村 昭浩
		長野県高等学校体育連盟 理事長	武居 正憲
		長野県高等学校体育連盟 副理事長	久保田 武
		信州大学教育学部スポーツ科学教育学科助教	藤田 育郎
		学校法人松商学園松本大学人間健康学部准教授	齊藤 茂
	競技専門 委員会代表	個人種目(2名)、団体種目(2名)	
	医科学専門 委員会代表	(2名)	

### ■アドバイザー〔4名〕

区分	所属	氏名
スポーツ庁	スポーツ庁政策課 教科調査官	高田 彬成
(公財)日本スポーツ協会	日本スポーツ協会理事 (早稲田大学スポーツ科学部学術院教授)	友添 秀則
	国民体育大会委員会競技者育成部会委員 (日本大学スポーツ科学部教授)	森丘 保典
有識者	東京大学大学院総合文化研究科教授	中澤 公孝

## 平成30年度事業計画

長野県競技力向上対策本部の平成30年度事業計画は、次のとおりとする。

- 1 競技力向上基本計画の策定
- 2 競技力向上対策事業【ジュニア選手発掘・育成】
  - (1) スポーツ体験教室（小学校低学年向け）
  - (2) ジュニアアスリート発掘育成事業（小学校高学年向け）
  - (3) 適性種目チャレンジ事業（中学生・高校生）
  - (4) 地域ジュニアスポーツ教室補助金
- 3 会議の開催
  - (1) 本部会議の開催（年2回）
  - (2) 強化対策委員会の開催（年3回）
  - (3) 専門委員会の開催
    - ア) 競技専門委員会（年3回程度）
    - イ) 医科学専門委員会（年3回程度）
- 4 調査研究
  - (1) 競技団体の状況把握（ヒアリング等）
  - (2) 先進県視察及び各種大会視察（国体、インターハイ等）
  - (3) 先催県の調査・分析
  - (4) その他、競技力向上に関する情報収集

## 競技力向上対策事業【ジュニア選手発掘・育成】

事業名	目的	対象	内容	実施時期・場所等 (予定)
<b>(1)スポーツ体験教室</b>	運動遊びから競技スポーツに取り組むきっかけづくりの提供する。	小1～小3 希望者 抽選で各100名	○3回シリーズで開催予定 ・走・跳・投 ・ボール運動 ・コーディネーショントレーニング	10月下旬～2月 2～4地区で実施
<b>(2)ジュニアアスリート発掘育成事業</b>	本県国体開催時の活躍や世界で活躍できるアスリートの発掘・育成する。	小4～小6 選抜 各学年10名 計30名程度	○一次選考 スポーツテスト  ○二次選考 運動能力測定  選考後 ○トップアスリート教育 ・各種のスポーツ体験 ・実技指導 ・運動能力測定・栄養指導 ・メンタルトレーニング ・語学教育 ・オリンピックの講演 等	○一次選考会 7月21日（長野市） 22日（松本市）  ○二次選考会 9月上旬  ○活動予定 9月下旬から3月まで 第2・4土曜日 15回程度
<b>(3)適性種目チャレンジ事業</b>	マイナー競技を知る機会を提供し、競技団体とともに、選手確保と競技力向上を図る。	中1～高3 希望者 人数制限なし	○新たなスポーツやもう1種目挑戦したい（シーズン制）と考えている中・高校生を募集。  ○競技人口が少なく、競技力が低迷している競技団体を中心に体験会を実施。  ○適性を見ながらの種目とのマッチング。	11月～2月 2地区で実施 中南信/東北信で1回
<b>(4)地域ジュニアスポーツ教室補助金</b>	ジュニアアスリート発掘育成事業の受け皿を作る。	国体競技種目	上記事業によりで発掘育成するジュニア選手が地域で活動できる環境づくりを進めるために、競技団体や地域のスポーツクラブなどと連携。	検討中